

地域住民を支える診療と最先端の治療を行う眼科として信頼を集める。眼科に特化したクラウド型電子カルテシステムを導入し、診療効率が向上。患者情報のスムーズな管理、スタッフの効果的なマネジメントが実現。



横浜鶴見中央眼科

医療

〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-2-4

GSプラザ鶴見駅前1F

創業：2012年

資本金：0円

従業員数：24名

[https://www.chuoh-eye-](https://www.chuoh-eye-clinic.com/group/tsurumi/)

[clinic.com/group/tsurumi/](https://www.chuoh-eye-clinic.com/group/tsurumi/)



ITツール導入のきっかけ

患者の増加により、紙によるカルテの保管スペースが悩みに。電子化することで患者情報や予約をスムーズに管理したい

これまでカルテは紙で管理をしていました。カルテの保存期間は5年間。保存期間を過ぎたカルテは破棄されてしまい、過去の情報を確認できない問題がありました。また最先端の白内障手術を行うようになり患者数も増加したことから、予約制を導入したのですが、紙カルテをもとに予約を管理するには、必要なカルテを探す手間と時間がかかってしまいます。加えてカルテ保管のスペースや紛失などの問題も発生。

クリニックの移転も控え、今後はカルテの保管に場所を使うよりも患者さまが快適に過ごせる待合室、診察室や検査室としてスペースを活用すべきだと考えました。

取り組み

複数の場所からカルテ内容が確認できるクラウド型を検討。既に導入しているクリニックに相談しながらシステムを決定

導入したITツール：

眼科診療に特化したクラウド型電子カルテシステム

『CLIPLA Eye』（クリニカル・プラットフォーム株式会社）

患者情報管理、検査機器と連携したデータの取り込み、診察情報管理、次回診察指示管理、眼鏡・コンタクトレンズ処方、レセコンと連携した会計処理、予約管理などに対応

本院と分院があるため、どこからでもカルテを確認できる環境を作りたいとクラウド型の電子カルテに絞り、系列のクリニックや関わりある医師に相談しながらシステムを選択しました。最初からすべてのカルテを電子化するのではなく、まずは稼働しているものから徐々に電子化していきました。



自動化・効率化
ツール

効果

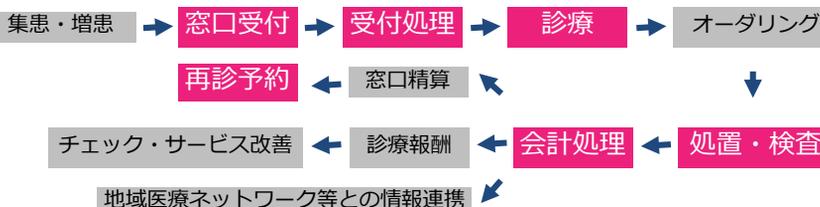
カルテ保存の省スペース化、診察情報の共有で働きやすい環境に。スピーディな予約や診察で、患者の待ち時間も減少！

カルテが電子化されたことで、過去の治療履歴なども一目で確認できるようになりました。今後通院履歴が増えていくことになっても、スマートに情報を管理・保管できると安心しています。

またこれまででは本院と分院の間を、スタッフが紙のカルテを持って行き来しながら診察や手術を行っていましたが、クラウド型のシステムなのでPCさえあれば同じカルテをどこからでも見ることができ、診察もスピーディになりました。電話で次回診察の予約が入る場合も、名前や診察番号から検索して予約を入れることができるので、患者さまをお待たせすることもありません。

システム導入して半年が経ち、スタッフ間で業務上の連携が取りやすくなったと感じています。患者さまの診察状況や、何人待っているのかという情報も共有できるので、離れた場所にある本院と分院の混雑具合も把握できるようになりました。それによりスタッフが状況に応じてサポートに行くなど助け合いも生まれています。

業務フローのココに効く！



アドバイス

新しいシステムを導入し、今まで通りのスピードで業務を進められるか不安に思うかもしれませんが、使っていくうちに必ず慣れます。確かに最初は試行錯誤をする時間がありますが、それは一時的なものです。旧来の不便なカルテ管理を続けるより、長期的に考えれば大きなメリットを感じられます。